

「究極の恋」

(第十八回)

これは恋の物語。でも、普通とちよつと違う、究極の恋なのだ。

演劇「永遠PART2 彼女と彼」を観た。舞台は薄暗く、妖怪が出てきそう

な雰囲気。BGMには

奇妙な現代音楽が流れる。岸田今日子

さんが演じる吸血鬼。100万年の命を

持ち、噛んだ人間は「血の家族」の一

員となり、不死となつてしまふ。

一方、渡辺謙さんが演じる僧侶。命は

せいぜい100年だ。この二人が恋をした。それ

も命がけの恋。僧侶は血を吸ってもらつて、二人

ですつと一緒になりたいと思う。しかし、女性の吸血鬼は、愛する

男性が不死になった場合「死ねない」という苦しみがかかる。だ

から、彼の血を吸いたいけれども我慢し、悩み、そして苦しんでい

るのだ。

さて、暗い話はさておき、華やかで美しいものを考えてみよう。

たとえば、夜空にぱつと広がる火花。でも、火花とは一瞬で、はかない命だからこそ美しい。心を

奪われてしまふ。もし、いつまでも火花が空にと

どまつていたらどうだろうか。

人は、限られた生命しか与えられていないからこそ、いい

のかもしれない。不老不死を望む人も

いるが、特効薬はないようだ。単なる命

の長さよりも、むしろ、その充実度が大切ではないだろうか。

近年の医学では、次第

「Quality of life (QOL)」

「生活の質」を大切に

考えるようになってきた。い

ちど、自分のQOLについて、考えてみよう。毎日の積み重ねが、「人生の質」へとつながっていくのである。

(徳島大学附属病院内科医師)

健康のススメ

板東 浩